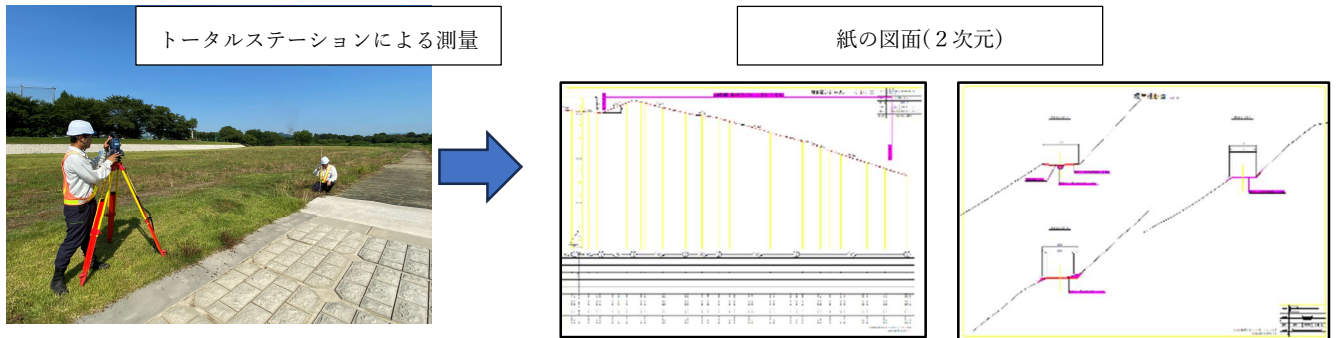


3D 測量の到来!! - 測量の今と今後 -

これまで の測量は、現地測量で、土地の形状を測り、建物の位置を測り、平面図を作成してきました。さらに、地図を作成するだけでなく、設計分野では法線を入れ、土量など算出します。



現在 は、2D から 3D 測量に大きく変わってきており、トータルステーション (TS) に代わり、レーザースキャナーが利用されています。レーザースキャナーの照射により、対象物の空間位置情報 (3D データ) を点群データとして取得します。TS 測量は地上測量のみに対応しますが、レーザースキャナーは、地上型 3D レーザ (TLS) の外、UAV レーザ・航空レーザ (LP)・車載写真レーザ (MMS) があり、空間情報を取得して、多様に活用できる測量方法です。



3D 測量のメリット

- ・地形や地物・構造物等に触れることなく計測が可能です。
- ・危険な箇所や立ち入りが困難な場所での測量が安全に実施できます。
- ・広範囲を効率的に計測したり、樹木があっても地表面を計測できます。
- ・ICT 施工への活用ができます。

もちろん、TS 測量が無くなったわけではなく、「建設 DX」と言われている現在、新技術の導入として、公共測量におけるレーザ測量が活用されてきております。

弊社では『IT 推進室』を設け、土木学会での発表や定期的な新技術の実証を行っています。お声かけ頂ければ、一緒に勉強したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。